



START UP GUIDE

Setup 編

BONX WORK のはじめ方

SET UP・管理編

- 0 はじめに P2
BONX WORKのご説明
- 1 アカウントの作成 P3-8
企業アカウントおよび、利用するユーザーのアカウントを作成します。
- 2 アカウントの管理 P9-14
利用するユーザーのアカウントを管理します
- 3 アカウントの削除 P15



<https://bonx.co.jp>

TALK編

- 0 はじめに
BONX WORKのご説明
- 1 アプリの開始
グループ通話専用のアプリケーションを入手しログインします
- 2 BONX Gripのセットアップ
BONX Grip(もしくはマイク付イヤフォン)を接続し、装着します
- 3 BONX miniのセットアップ
BONX mini(もしくはマイク付イヤフォン)を接続し、装着します
- 4 BONX BOOSTのセットアップ
BONX BOOST(もしくはマイク付イヤフォン)を接続し、装着します
- 5 トークルーム作成・通話
グループ通話をするためのトークルームを作成し通話を開始します
- 6 通話時の設定
通話を快適にするための簡単な操作方法を確認します
- 7 プライベートトークの使い方
ルーム内の特定の人のみと会話ができる機能です



iOS

Android



純正ヘッドセット
「BONX BOOST」



0 はじめに

推奨環境

- BONX WORKの推奨環境については、[こちら](#)をご覧ください。
- ※Androidは端末によって動作保証が確認できていないものがございます。詳細は [こちら](#)、もしくは下記のQRコードよりご確認ください。

ご利用上の注意

BONX WORKをご利用の際は以下の点にご注意ください。

- アプリダウンロードの際は『**BONX WORK**』をダウンロードして下さい。
※コンシューマー向け『BONX』を誤ってダウンロードしないようご注意ください。
- コンシューマー向けアプリ(BONXアプリ)とBONX WORKアプリを同時に立ち上げると、BONX
イヤフォンやアプリの機能に問題が発生する可能性があります。
利用する時はどちらか片方だけを立ち上げてください。

その他の情報

WEB上のマニュアルやよくあるお問い合わせを参考にしてください。



WEBマニュアル



Q&A



対応端末

① アカウントの作成

1. 企業アカウント(テナント)の作成

まずは、管理者の方が、企業アカウント(BONXではテナントと言います)を作成します。
①作成ご希望の方は、BONXチームまでご連絡ください。お申し込みフォームをご案内します。
②Webブラウザにてお申し込みフォームにアクセスしてください。



お申し込みフォーム
Application

こちらの必要事項をご記入の上、お申し込み頂ければすぐにトライアルを開始頂けます。

* 必須項目

会社名* 例：株式会社BONX

B4B ID* 貴社アカウントのIDを設定ください 例：bonx-japan

お申し込みの際は以下の項目への入力をお願いいたします。



会社名* 例：株式会社BONX

B4B ID* 貴社アカウントのIDを設定ください 例：bonx-japan

電話番号* 03-6453-2699

メールアドレス* 例：info@bonx.co

メールアドレス(確認)* 例：info@bonx.co
※コピー＆ペーストでの入力が禁止されています

パスワード*

パスワード(確認)* アルファベットと数字合わせて6文字以上で設定してください。
※コピー＆ペーストでの入力が禁止されています

アンケート BONX WORKをどこでお知りになりましたか？
選択してください

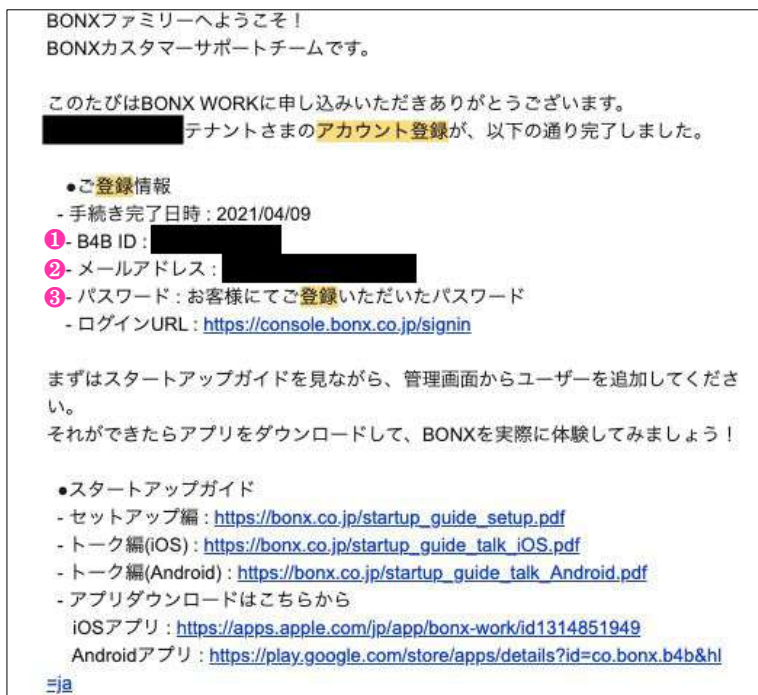
想定のご利用人数*

- ①会社名
- ②B4B ID(半角英数のみ)
- ③電話番号
- ④メールアドレス(ご自身のアドレス)
- ⑤パスワード(半角英数のみ、ログイン時に必要となります)

① アカウントの作成

1. 企業アカウント(テナント)の作成

登録メールアドレスにメールが来たら、メール内のログインURLをクリックしてログインします。
ログインURL: <https://console.bonx.co.jp/signin>



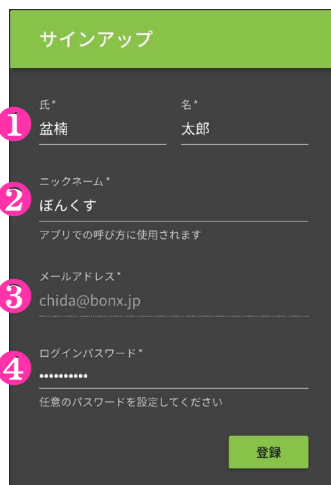
ログイン画面にて、①～③を入力し、ログインを行なってください。



① アカウントの作成

1. 企業アカウント(テナント)の作成

サインアップ用の情報を入力し、「登録」を押します。
サインアップでは以下の情報を入力します。



サインアップ

① 氏* 盆 桶 名* 太郎

② ニックネーム*
ぼんくす
アプリでの呼び方に使用されます

③ メールアドレス*
chida@bonx.jp

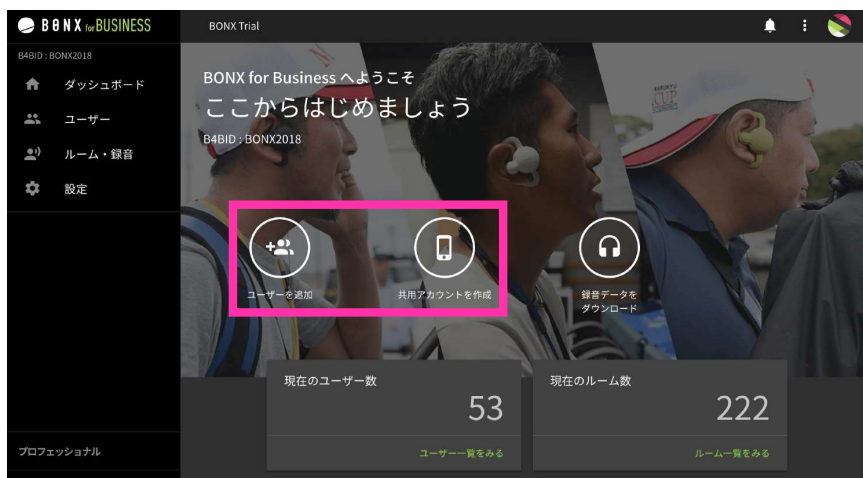
④ ログインパスワード*

任意のパスワードを設定してください

登録

- ① 氏・名(管理用の氏名です)
- ② ニックネーム(通話用の名前です。ひらがなやカタカナで登録することを推奨します)
- ③ メールアドレス(事前登録済みのアドレスが表示)
- ④ パスワード(半角英数字6桁以上(1つ以上の数字含))
※今後のログインに使用するパスワードになります

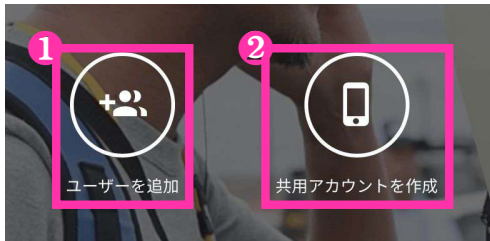
登録ができて、管理画面(コンソール画面といいます)が表示されたら企業アカウント(テナント)の作成は成功です。続いてユーザーのアカウントを作成しましょう。



① アカウントの作成

2. アカウントの種類

アカウントには以下2つのタイプがあり、目的に応じて使い分けることができます。



PCコンソール画面:ダッシュボード

① メールアドレスを登録して作成する個人アカウント

特定のユーザーのみが使用する場合はこちらを利用します。1アカウント発行される毎に課金されます。

② メールアドレス登録不要の共有アカウント

対象アカウントを利用する個人が短期間で切り替わる場合に推奨されます。複数の人数で使い回せるので、費用も1アカウント分で済みます。

個人アカウントとは

メールアドレスを登録して作成する個人専用アカウントです。
個人アカウントの権限は3種類あり、権限によってできることが異なります。

ユーザー権限一覧

ユーザー権限一覧	
テナント管理者	プラン変更、ユーザーの追加、共有アカウントの追加、トークルームの作成、グループ通話への参加が可能
マネージャー	アカウント情報の編集、トークルームの作成、グループ通話への参加が可能
メンバー	グループ通話への参加のみ可能(トークルーム作成等はできません)

		メールアドレスが必須のもの			メールアドレス 必要ないもの
		テナント管理者	マネージャー	メンバー	共有デバイス
管理機能 (ウェブコンソール ベースの機能)	課金情報の設定/閲覧	○	×	×	×
	テナント全体の設定	○	×	×	×
	アカウントの追加/削除	○	×	×	×
	アカウントの編集	○	○	×	×
	アカウントごとの ログ参照	○	○	×	×
	ルームごとの メンバー参照	○	○	×	×
	録音データの ダウンロード	○	○	×	×
通話関連機能 (アプリベースの 機能)	永続的なログイン	○	○	○	×
	トークルームの 作成/編集	○	○	×	×
	ルームへの招待	○	○	×	×
	共有デバイスログイン用 コードの表示	○	○	×	×
	通話	○	○	○	○

① アカウントの作成

2. アカウントの種類



共用アカウントとは

メールアドレスが不要で管理者発行のQRコードまたはパスコードを用いたログインを行えるアカウントです。セキュリティよりも簡便性を優先しています。
1アカウントに対し同時ログインできるのは1名ですが、1つのアカウントを複数人で使いまわす場合にお使いいただくものとなります。※利用シーン詳細は14ページをご覧ください。

以下の場合でのご利用が推奨されます。

- ・管理可能なメールアドレスを利用者全員が持っていない場合
- ・アルバイトなどメールアドレスが配布されていない方が使用する場合
- ・BONX WORKを利用する個人が短期で切り替わるような場合

個人アカウントと共用アカウントの違い

	 • 個人メールアドレス保有社員 • 長期利用目的者	 • アルバイト・パート • 短期利用目的の社員 • 外部ゲスト 等
	個人アカウント(ユーザー)	共用アカウント(※1)
ログイン認証	メールアドレス	QRまたはパスコード
再ログイン	可(アカウント情報を入力)	不可(※2)
強制ログアウト	不可	可(管理者、マネージャー権限)
権限	管理者/マネージャー/メンバーから選択	ユーザーと同権限のみ (決められたトークルルームのみ参加可能)
同時ログイン (1アカウントに対し複数ログイン)	不可	不可

※1 共用アカウント1つ作成ごとに1アカウントとして課金されます。

※2 一度ログアウトすると「同じコードの再使用ができないため」管理者がログイン用のパスコードを再発行する必要があります。

再発行

① アカウントの作成

3. ユーザーアカウントの作成

個人アカウントの作成

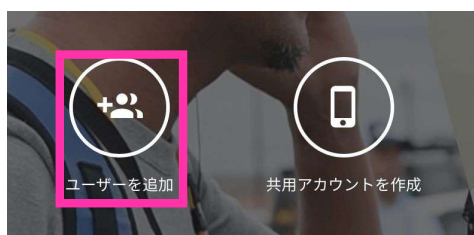
コンソール画面のダッシュボードから「ユーザーを追加」を押して、ユーザーを追加します。
必要事項を入力し、保存を押すとユーザーの追加は完了です。

<任意設定>

『所属組織』…追加をすると検索がかけやすくなり、ユーザー管理がしやすくなります。

『パスワード』…追加時にはパスワードを設定することも可能です。設定しなければランダムなパスワードが生成され、招待メールにて通知されます。

※パスワードが設定できるのは追加時のみです。登録済みのアカウントのパスワードを変更することはできません。



(PCコンソール画面:ダッシュボード)

A screenshot of a web form titled '新しいユーザーを追加' (Add New User). It has two tabs: 'CSVファイルから登録する' (Register from CSV file) and 'CSVテンプレートをダウンロード' (Download CSV template). The form includes fields for 'メールアドレス*' (Email address*), 'パスワード' (Password), '氏*' (Last name*), '名*' (First name*), '所属' (Affiliation) with a dropdown menu, and 'メンバー' (Member) with a dropdown menu. There are also links for 'さらにユーザーを追加' (Add more users) and '所属組織を管理' (Manage affiliation). At the bottom are 'キャンセル' (Cancel) and '保存' (Save) buttons.

共有アカウントの作成

コンソール画面のダッシュボードから「共有アカウントを作成」を押して、共有アカウントを作成します。



(PCコンソール画面:ダッシュボード)

A screenshot of a web form titled '新しい共有アカウントを追加' (Add New Shared Account). It includes a field for 'アカウント名*' (Account name*) and a dropdown menu for '所属組織' (Affiliation). There are links for 'さらに共有アカウントを追加' (Add more shared accounts) and '所属組織を管理' (Manage affiliation). At the bottom are 'キャンセル' (Cancel) and '作成' (Create) buttons.

共有アカウントは、ログインするためにさらに管理コンソールでの作業が必要です。
次ページをご確認ください。

② アカウントの管理

1. アカウントのログイン方法

個人アカウントのログイン方法

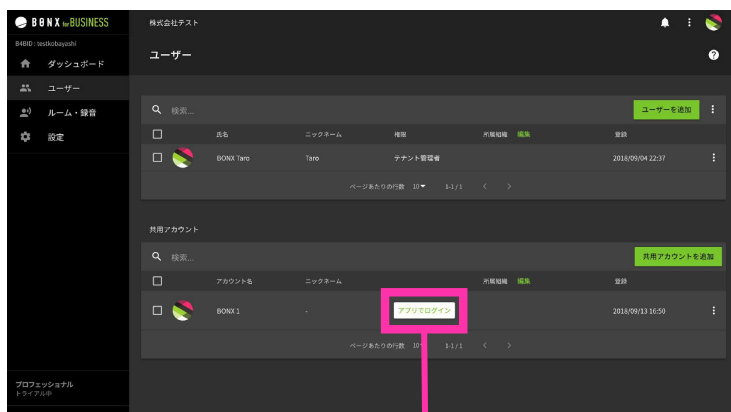
管理者が個人アカウントを追加すると、登録したメールアドレス宛に招待メールが届きます。メールに記載の情報をアプリログイン画面にて入力を行い、ログインします。

詳しくはtalk編をご覧ください。

共用アカウントのログイン方法 | パスコード発行

共用アカウントでログインする際は、**QRコードの読み込み**または**パスコード入力**が必要です。管理者は、QRコードまたはパスコードを事前に通知する必要があります。QRコード・パスコードはコンソール画面のユーザー>共用アカウント欄にある、「アプリでログイン」※を押すと表示されます。

※すでにログイン済みの共用アカウントは「ログアウトさせる」が表示されます
※1つのアカウントに同時にログインすることはできません。



PCコンソール画面: ユーザー一覧



アプリログイン画面
(上記画像はOSアプリ2.5.9)



コンソール画面:
共用アカウントパスコード表示



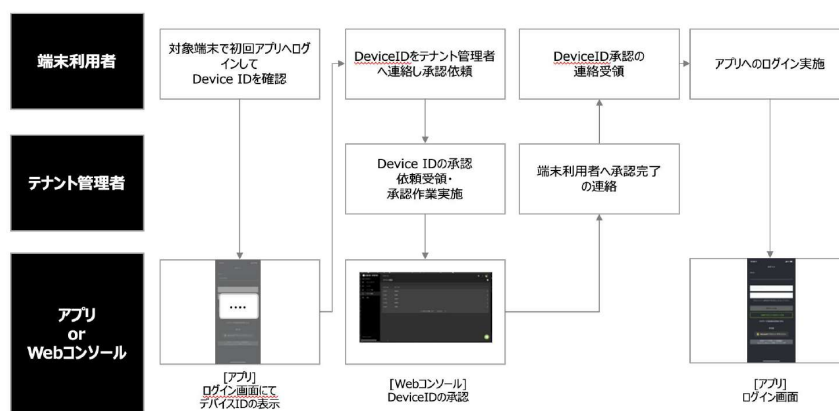
アプリログイン画面:
共用デバイスの設定

② アカウントの管理

1. アカウントのログイン方法

デバイス認証機能について(有償オプション)

有償オプションにて「デバイス認証」機能をご利用いただけます。
デバイス認証機能は、特定の携帯端末のみBONX WORKアプリを利用可能にしたい場合に有効なオプション機能です。



デバイス認証操作方法(マネージャー、メンバー、共用アカウント)

テナント管理者以外のアカウント(マネージャー、メンバー、共用アカウント)は、初回ログインの場合に、テナント管理者による携帯端末毎のデバイス認証が必要となります。

デバイス認証された端末はアプリへのログインが可能となります。



- 1 アカウントにてログイン、携帯端末のデバイスIDがポップアップ画面で表示されます。
- 2 「OK」を選択すると、デバイスIDがコピーされ情報がテナント管理者へ送信されます。
- 3 デバイスIDをテナント管理者へ共有してください。
- 4 テナント管理者にて承認後、再度ログインをしてください。

共用アカウントログイン画面

マネージャー・メンバーログイン画面

② アカウントの管理

1. アカウントのログイン方法

デバイス認証操作方法(有償オプション):テナント管理者

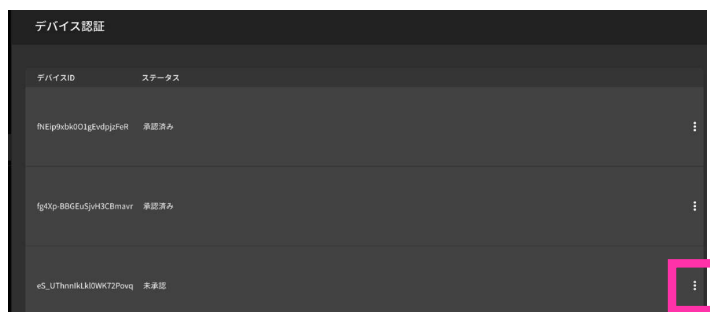
テナント管理者は「デバイス認証」のメニューから、認証を行います。




①「デバイス認証」のメニューがテナント管理者のみに表示されます

②認証の申請を受けたデバイスIDと、ステータスが表示されます。

デバイスID	ステータス
fNEip9xbk001gEvdpjzFeR	承認済み
fg4Xp-BBGEuSjvH3CBmavr	承認済み
eS_UTHnnikLkl0WK72Povq	未承認



③ステータスが未承認の場合、をクリック



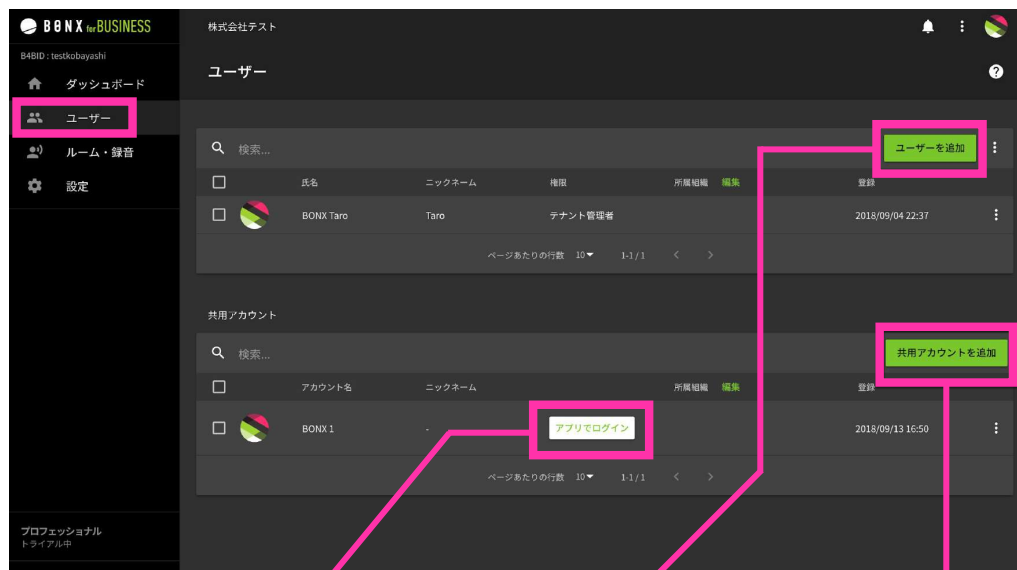
④承認、削除が表示されるので、承認を選択
利用者へ通知したことをお知らせしてください。

② アカウントの管理

2. ユーザーアカウントの管理

アカウントの管理

ユーザーの追加、共用アカウントの追加、共用アカウントのQRコード／パスコード表示は、コンソール画面＞ユーザーから操作可能です。
アカウントの管理はiOS、Androidのモバイルアプリからも実施できます。



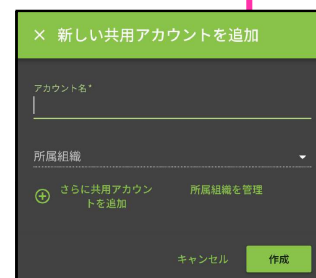
PCコンソール画面:ユーザー



共用アカウント
パスコード表示



新しいユーザーの追加



新しい共用アカウントの追加

これでアカウントの作成が完了しました。
続いて、talk編で実際に通話を始めていきましょう。

② アカウントの管理

2. ユーザーアカウントの管理

共用アカウントの管理（強制ログアウト）

ログイン済み共用アカウントユーザーの強制ログアウトを行うことが可能です。
テナント管理者またはマネージャーが操作可能です。

コンソール画面のユーザー＞共用アカウント欄から操作します。



①「ログアウトさせる」ボタンをクリックすると、対象アカウントのユーザーは
BONX WORKアプリからログアウトします。(ログイン画面へ遷移いたします。)



②ボタンクリック後、画面左下に「ログアウトしました」が表示されたら完了です。
画面をリロードし、対象アカウントが「アプリでログイン」の表示となっている事をご確認ください。

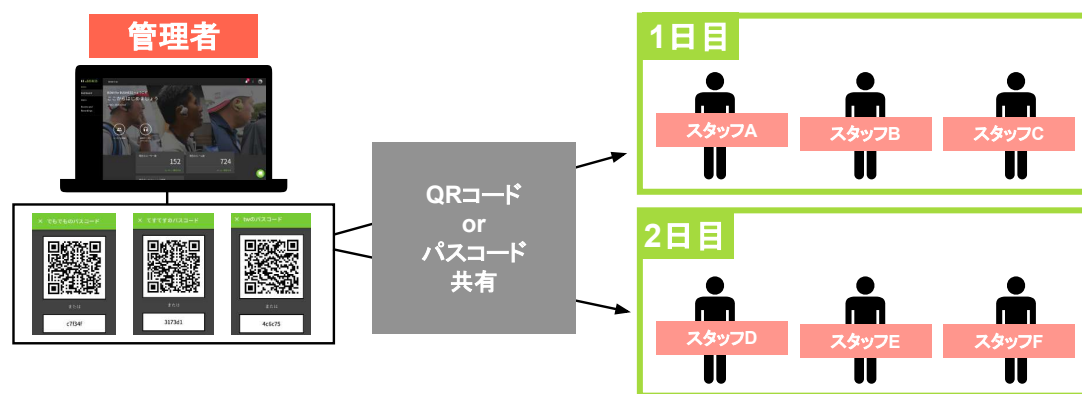
※再度ログインしたい場合は「アプリでログイン」をクリックし、もう一度QRコードやパスコードを表示・通知を行なってください。

② アカウントの管理

2. ユーザーアカウントの管理

共用アカウント利用シーン

スタッフは全部で6人いるが、稼働しているスタッフが常に3人の場合、共用アカウントを3つ作成することで、後日、異なるスタッフ3人が同じ共用アカウントでお使いいただくことができます(図参照)



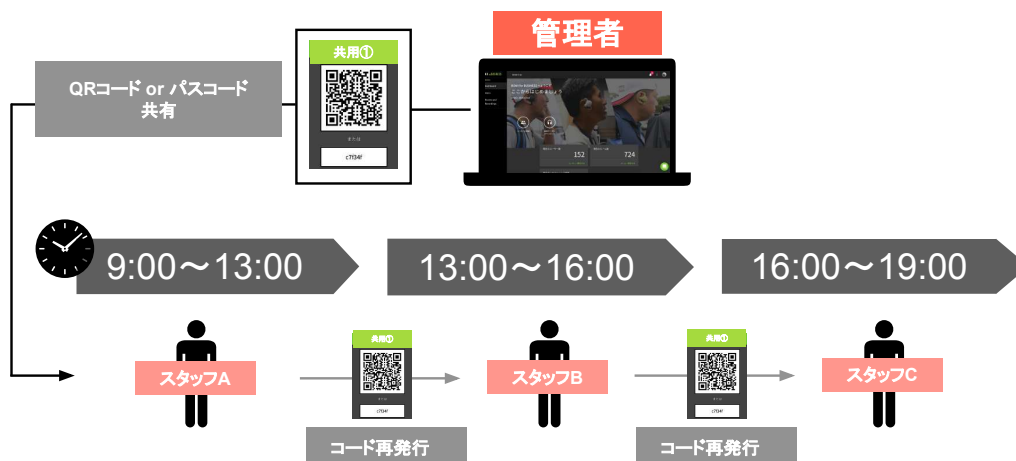
3名のスタッフが1日の中で時間が被らず働く場合、1アカウントを時間帯で切り替えてお使いいただくことができます。

※各時間帯でログアウト&QR/パスコード再発行が必要です。(図参照)

09:00～13:00 スタッフA

13:00～16:00 スタッフB

16:00～19:00 スタッフC



③ アカウントの削除

1. ユーザーアカウントの削除

アカウントの削除

テナント管理者は、アカウントの削除を行うことができます。
※作業アカウント自身は削除できません。
※テナント管理者は、最低1名は必要です。最後の1名は削除できません。

① コンソール画面＞ユーザーから、削除したいユーザーを選択し、「削除」をクリックします。確認画面が出てくるので、問題ないことを確認し、再度「削除」ボタンをクリックします。

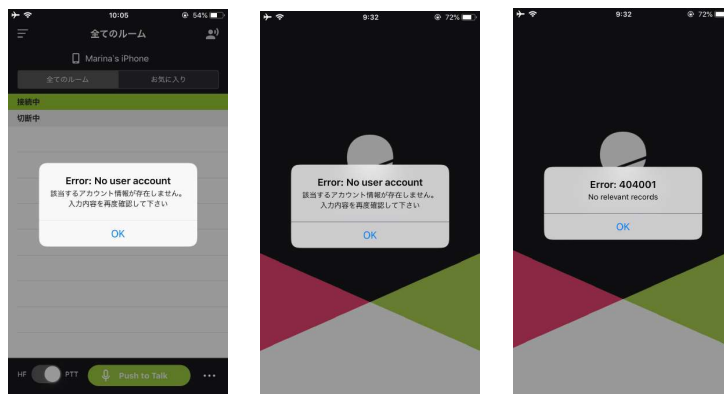


Notice

削除時に、ユーザーがBONX WORKアプリからログアウトしていない場合、エラーが発生しアプリにログインができなくなります。必ず、アプリをログアウトしていることを確認してください。共用アカウントの場合は、管理コンソールから強制ログアウトができます。 ※[P13:アカウントの管理\(強制ログアウト\)参照](#)

ログイン中アカウントを削除してしまった場合の対応

- ① 一度アプリを削除し、アプリ再インストールが必要となります。
- ② 再インストール後、新たなアカウントでログインをお願いします。
※端末認証のオプション設定を行なっている場合、アプリ再インストール後は再度端末認証が必要です。



ログイン中にアカウントを削除した場合、エラー表示が出続けてしまい、再ログインができなくなります。